『草地の雑草防除研修会』を開催しました

令和元年１０月３０日、奥羽牧場主催で『草地の雑草防除現地研修会』を開催しました。県、研究機関、飼料生産受託組織等１６名が参加しました。

室内研修では、青森県畜産研究所の神谷主任研究員から「青森県における新たな雑草分布について」として、青森県の一部の地域での植生調査結果について、ハルガヤやキク科の雑草であるハルザキヤマガラシの増加という現状報告がありました。次に、雪印種苗トータルサポート室佐藤主査から「草地飼料畑の雑草防除」として、牧草や飼料用とうもろこしにおける様々な雑草防除方法についての説明がありました。

また、現地研修では、平成３０年に播種した完全更新ほ場と簡易更新ほ場に会場を移し、当場の職員から更新前と更新後の植生調査の結果と現在の雑草の状況について説明しました。その後、佐藤主査の指導の下でハルガヤの見分け方や簡易的な土壌中ＰＨ測定方法などを実習しました。

参加者からは、除草剤の利用時期や雑草ごとの対策がよく分かった等の感想があり、昨今の多様化する雑草や強害雑草防除対策として、今後に活かすことができる研修会となりました。

会議室での研修会の様子

当場ほ場を使った現地での研修会

左：ハルガヤの見分け方（根元の葉鞘に短毛）

下：土壌 pH 測定の説明（土壌でそのまま測定）